



2023年12月6日

各位

会社名 株式会社サンテック  
代表者名 代表取締役社長 加藤 剛志  
(コード番号 1960 スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員管理部長 船戸 文英  
(TEL. 03 - 3265 - 6181 )

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、取締役会が定める経営の基本方針に基づき、経営層が主体となり資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた現状評価を行い、改善に向けた取組みを継続的に議論してまいりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状評価

資本コストと資本収益性のバランスについては、当社ROE（自己資本利益率）が過去実績から株主資本コストを下回った水準で推移していることを認識し、ROE指標が向上しない限りは自己資本を意図的に増やさないと「当期利益の範囲内において株主還元原則100%」を実践しております。また、株価については、市場評価においてPBR（株価純資産倍率）が1倍を下回って、株価は割安な水準で推移していると評価しております。

#### 連結経営指標

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
期末株価	668円	554円	713円	674円	615円
PBR	0.38倍	0.31倍	0.39倍	0.36倍	0.33倍
ROE	2.3%	3.4%	1.0%	△0.1%	1.4%
1株当たり純資産	1,737.59円	1,798.96円	1,851.43円	1,871.87円	1,865.34円
1株当たり配当金	24円	24円	18円	10円	30円
配当性向	61.3%	40.2%	94.1%	—%	112.0%
総還元性向	136.8%	73.2%	126.7%	—%	138.2%

#### 2. 改善に向けた取組み施策

本年は、2022年度を初年度とする3か年の第13次中期経営計画(2022年4月～2025年3月)の2年目であり、その取組み施策を整齊と進めております。その上で、PBR向上に係る以下の施策に取り組んでまいります。

##### (1) 事業ポートフォリオの変革

###### ①送電工事の強化

- ・配置転換などを含む人的資源の拡充等も行い、送電工事の強化を図る。

- ②海外拠点ネットワークを活かした事業の推進
    - ・海外拠点との人材交流、海外人材の採用・育成を活かして、事業の拡充及び差別化を図る。
  - ③不採算部門・事業所の再編
    - ・部門別・事業所別の将来的な業績見通しも見極め、不採算部門・事業所を再編する。
- (2) 工事収益力の強化
- ①実行予算制度の見直し
    - ・工事利益を安定的に確保する視点から、実行予算制度の見直しを行う。
  - ②資材調達の一元化
    - ・資材調達の一元化を進め、工事原価の低減を図る。
- (3) 社員エンゲージメントの向上
- ①人事制度の改革
    - ・人的資本投資及び社員への利益還元の見直しを反映した、人事制度の見直しを行う。
  - ②人材育成に係るプログラムの見直しと拡充
    - ・若手社員の早期戦力化等、組織力強化に向けた人材育成の仕組みの見直しと拡充を図る。
- (4) 財務・投資及び資本政策
- ①所有不動産の有効活用
    - ・当社所有の不動産について、中長期的視点で有効活用を進め、収益を生む物件に変換していく。
  - ②政策投資株式の保有見直し
    - ・政策投資株式の保有意義等の検証結果に基づき、政策投資株式の売却を進め、その売却資金を所有不動産の有効活用に充てるなど、効率的な投資に変換していく。
  - ③株主還元
    - ・「当期純利益の範囲内において株主還元原則 100%」という従来の考え方から脱却し、自己株式の取得及び配当還元により、株主還元を行う。
- (5) 外部広報、I R活動の強化
- ・ホームページ等を活用した当社のSDGsへの取り組み状況や事業方針等の発信、外部広報により知名度向上に繋げる。

以 上